

久賀小だより



コミュニティ・スクール3年目の成果「地域と共に育む子供たち」



2月5日(木)に本年度最後となる「第4回学校運営協議会」を開催しました。学校運営協議会は地域と一体になってよりよい学校づくりを目指し、様々な課題を話し合う大切な場です。設置から3年目を迎えた今年、特に大きな成果として挙げられるのが、「KOS 学習部」による授業支援の活性化です。

◎水泳学習、図工、家庭科、生活科などでの見守り支援により、子供達は安心して学習に打ち込むことができました。

◎様々な年代の方との交流は、子供たちの「相手意識」や「表現力」を育む貴重な学びの機会となっています。

地域の皆様の積極的なご協力に、心より感謝申し上げます。

令和8年度グランドデザイン みんなの「道しるべ」を目指して

運営協議会の中で、久賀小の次年度のグランドデザインのご承認をいただきました。作成にあたり大切にすることは、見るだけで元気・やる気が湧いてくる「道しるべ」とすることです。

◆策定のプロセス◆児童や関係者の皆様から寄せられた「本校の強み」や「願い」を反映しました。

◆組織目標◆「対話」・「ともに一歩前進」という言葉を新たに掲げました。

引き続き、「人との関わり」と「授業の充実」を柱に、学校全体で成長していきたいと考えています。詳細は4月に改めてお伝えします。

お互いに「ほめほめ名人」を目指して

グランドデザインでは、「目指す保護者像」として以下の3点を掲げています。

保護者

- ・子供をほめ・叱れる保護者
- ・子供とともに成長する保護者
- ・学校・地域と協同する保護者

特に「ほめと叱り」のバランスは、どのご家庭でも悩まれるポイントではないでしょうか。親としての責任感から、つい「叱る」に比重が偏ってしまうこともあるかもしれません。しかし、大人も子供も「ほめられて成長したい」という願いは共通です。そこで、親野智可等氏の著書『「親力」で決まる!』より、今日から使える「ほめのテクニック 11」をご紹介します。

- | | | |
|--|-------------------|------------------|
| ①具体的にほめる | ②抽象的にほめる | ③すぐほめる |
| ④「これは」と思うことをいつまでもしみじみほめる | ⑤理由をつけてほめる | |
| ⑥理由なしでほめる | ⑦ほめ言葉のバリエーションを増やす | |
| ⑧感謝の言葉もほめことばである | ⑨第三者もほめていたと伝える | |
| ⑩その子の思い入れの大きいことをほめる（大人の価値観ではなく、その子の立場に立って） | | |
| ⑪ときには意外なことをほめる（思いがけない発展があるかも） | | ⇒2ページ目に表を掲載しました。 |

子供の年齢は、そのまま「親としての年齢」でもあります。完璧を目指すのではなく子供たちと共に、私たち大人も一歩ずつ成長していきましょう。

今日から実践！ほめのテクニック ⅠⅠ

ほめ方	具体的なポイント
① 具体的に	例：「自分で明日の支度ができたのだね。勉強の支度も給食の支度も自分でできたなんて、すごいよ！」
② 抽象的に	例：「〇〇はやさしい子だ。」 ＊注意する時は、人格を否定するようなことは×。ずるい子×。
③ すぐに	子供は興味関心がすぐに他にうつるので、そのことが心の中で大きな位置を占めているうちに伝えることが大切。
④ しみじみと	「これは」と思うことを、いつまでも大切に伝えることで、子供の心に自分自身に対するよいイメージが作られていく。
⑤ 理由をつけて	例：「毎日、靴をそろえてくれてありがとう。 おかげで、突然お客さんが来た時もあわてずにすんだよ。」
⑥ 理由なしで	時にはあっさり、理由なしでほめるバランスも大切です。
⑦ バリエーション	いろいろな言葉でほめた方が新鮮で、受け取る方も喜びます。
⑧ 感謝を伝える	「ありがとう」「助かるよ」「とってもうれしいよ」なども立派なほめ言葉です。
⑨ 第三者の声を届ける	「〇〇先生もほめていたよ」「〇〇さんのお母さんが…」などと伝聞で。
⑩ 子供の視点で	子供が自分なりに思い入れをもって取り組んでいることがあるものです。それを認められたりほめられたりするとうれしいものです。
⑪ 意外なことを	例：「いい声をしているね。」「姿勢がいいね。」「食べ方がきれい。」… 将来、思いがけない発展があるかも。